

令和3年度 3年技術・家庭科家庭分野 年間指導計画・評価計画

1. 目指す生徒像

学年末の到達目標 衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

『知識・技能』 生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住などについて理解しているとともに、それらに関わる技能を身に付けている。

『思考・判断・表現』 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を身に付ける。

『関心・意欲・態度』 よりよい生活の実現に向けて、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践することができる。

2. 評価の方法

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	④主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	定期考査 作品 ワークシート等	定期考査 作品 提出物 ワークシート等	作品・授業観察 提出物 ワークシート等

3. 年間指導計画・評価規準

月	単元	時数	学習活動	①	②	③	評価規準
4	家族・家庭生活	6	・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解する。 自分の幼児期を振り返りながら、幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解する。	○			・家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・自分や家族がになう家族・家庭の基本的な機能を考え、生活を工夫している。 ・自分や家族がになう家族・家庭の基本的な機能を考え、生活を工夫している。 ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・自立に向けて中学生の自分にできることを考え、工夫している。 ・家庭生活を支える活動とそれを支える社会の仕事やしくみの学習を通して、家庭生活と社会のつながりに気付いている。 ・地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 ・地域の幼児や高齢者など、自分と異なる立場の存在に気付いている。 ・幼い頃を振り返り、周囲の人との関わり大切さについて理解している。 ・自分の成長をふり返るとともに、幼児期に関心を向けている。 ・幼児の体や心の発達の特徴について理解している。 ・幼児の発達と生活の特徴について理解している。 ・幼児の成長を支える立場として幼児の身体の発達を理解している。 ・幼児の生活習慣の習得の特徴について理解している。 ・幼児の生活習慣の習得を支える家族の役割について理解している。 ・基本的な生活習慣の習得の手立てを考えている。
5				○	○	○	

